

リーダーとしての目線を養うには
ウッドバッジ研修所で受講して

上総地区 市原第7団
ローバー隊 小西 あかり

私が参加時に考えていたのは「ボーイ年代のスカウトたちに何をどのように伝えたら良いのか」ということでした。コース参加中は時間が限られていて、スカウトスキルはある程度知っているものとして進んでいきました。

その為、できる人ができることをやるが多かったです。

セッションの前後のちょっとした時間や、テントで1日を振り返るとき、リーダーとしてではなくスカウト目線での参加しか出来ていないと気づきました。ウッドバッジ研修所スカウトコースへの参加前、「ローバースカウトとして参加するのではなく、リーダーとして参加するように」と言われました。

スカウトとの接し方やプログラム中の言葉遣いは目に見えやすいですが、組まれている企画をこなす参加者はリーダー目線になるというのはなかなか難しいと感じました。



ウッドバッジ研修に参加して
自然の中でのワクワク感を伝えたい

八千代・習志野地区 八千代第2団
カブ隊デンリーダー 五十嵐 千賢

確か小学5年生のころ、夏休みに家族で北海道旅行をした時のキャンプが、私と自然の最初の記憶です。ほとんど素人同然だった父が悪戦苦闘しながら設営したテントの中で、時折響く獣の咆哮に怯えながら眠れぬ一夜を過ごしたこのときの記憶は、私にとって、星空や土や風、木々や動物たちと、同じ時間同じ空間をともにした心揺さぶられる体験として、胸に深く刻まれたものでした。

30年のときを経たこのウッドバッジ研修。テントで横になりながら、湿った土のにおいとカサカサと耳の奥をくすぐるような風の音に、あの頃の自分と再会したような懐かしさを感じたものです。

今の子どもたちの多くがデジタルな快樂に囲まれている中、今の大人たちの多くも自然の中での遊び方ばかりかその楽しささえも満足に知らない。それじゃああんまりじゃないか。自然の中でしか味わえないワクワク感を今の子どもたちや大人たちに知ってもらいたい！そんな願いが今の原動力となっています。

ウッドバッジ研修所スカウトコースに参加して

南総地区 袖ヶ浦第1団
ボーイ副長 鶴岡 侑真

私はビーバースカウトから活動をはじめ現在に至ります。スカウトとして活動してきた中には、多くの方との出会いや貴重な経験がありましたが、今回のスカウトコースでは、指導者としての観点からスカウト運動について学び理解する大変良い機会でした。

スカウト運動の理念や目標、またプログラムの意図などを学んでいくと、今まで自分がしてきた活動はスカウトの成長に対応した、大変良く考えられたものだったのだということを実感しました。

スカウトコースではスカウト運動についての講義だけでなく、班としての野営生活や、隊活動など実習的な要素も盛り込まれており、大変充実した研修でした。班の仲間との協力や役割分担など、スカウト目線で考え行動することによって、より幅広い視点でスカウト活動について考えることができました。3泊4日の間に学び、考えた多くのことを今後に生かしていきたいと思いました。

「ボーイスカウト」運動は
自分の価値を高め豊かにする行い

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第1団
船橋 英二

日々の生活の中で、変化よりも現状を維持する事に慣れている私は、ボーイスカウトに対してもある程度の距離を保ちながら、自分の立ち位置に満足しておりました。

ある日、私に「カブ隊長」をというお話から「研修所」へ行く事になりました。

色々な方からご支援を受け多くを学び自ずと探究心も湧いてきたのです。

その中で、初めて顔を合わせた仲間とテントを張り食事を作り食べる。その仲間と夜を過ごし、朝を迎えるのです。

日常と非日常が交差する3泊4日。

この研修を終えて、スカウト運動がこのように日本で百年も続いた理由が解った気がします。

私はこのスカウト運動を正しく理解し、正確に次の世代へ伝えることが役目なのではないかと思いました。

人の人生の中で「ボーイスカウト」運動は、自分の価値を高め豊かにする行いであると、確信へと変わっていきました。

ウッドバッジ実修所を終えて

松戸・鎌ヶ谷地区 松戸第8団
ビーバー隊 副長 高島 麻衣子

ウッドバッジ実修所への参加を決めてから、多くの方の支えと応援により、無事にウッドバッジ実修所・ビーバー課程の訓練を終了する事ができました。

第1教程を進めて行くと、「スカウトや保護者のニーズを入れた集会」を見直すきっかけを貰えました。また「約束ときまり」をプログラムに取り入れる大切さ、ソングを歌う機会を更に増やしたい…そんな思いを秘めて第2教程へ臨みました。

ビーバースカウト課程・第42期の開催地は静岡県浜松市太田山野営場。とても素晴らしい場所で素敵な仲間と3泊4日が過ごせたこと、静岡県連盟相談役の鈴木節子さんの特別セッションを受講できたことは私の宝物となりました。

第3教程、ここが一番大変な1年だった様に思います。課題を仕上げるためにソング研修会に参加しました。プログラムにソングを導入したことで以前よりスカウトのやる気と笑顔が増え、その結果、とても楽しいプログラムになって来ていると思います。今後も、スカウトの笑顔が増える集会を実施出来るよう学んでいきたいと思っています。